

デジタル人材の育成に向けた取組

2023年3月14日

札幌市経済観光局経済戦略推進部

札幌市のまちづくりの基本的な指針（デジタル産業政策関連抜粋）



第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン（ビジョン編）

基本目標10 強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち

IT分野やクリエイティブ分野、健康福祉・医療分野の産業が、国内外から投資や人・企業を呼び込み、札幌市の新たな強みとして更なる成長を遂げています。

基本目標11 多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち

様々な分野でデータや先端技術が活用され、生産性が向上することにより、人口減少社会においても持続的な経済成長を遂げています。

第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン（戦略編）（2023.3.3答申）

スマート（快適・先端）プロジェクト1 スマートシティの推進と人材育成・産業競争力の強化

(1) プロジェクトの三本柱 ②地域産業のデジタル改革

中小企業のDX支援、中小企業の実産性向上支援・テレワークの定着による働き方改革や、デジタル人材の確保・育成、スタートアップとの協働による行政のオープンイノベーションの推進のほか、データセンター等のデジタルインフラの集積などを促進します。

新たな強みとなるIT産業の成長・集積

生産性向上や競争力強化に向けた中小企業のDX推進

デジタル人材の確保・育成



デジタル社会の形成

行政のデジタル改革

視点① 市民起点の行政サービスの提供

- 行政手続のオンライン化推進
- マイナンバーカードの普及・利活用促進
- 自治体システムの標準化・共通化

視点② 飛躍的な業務の変革

- デジタル・ワークスタイル推進のための働き方改革
- デジタル・ワークスタイル推進のための情報通信機器の整備等
- 庁内ネットワークの再構築

市民生活の質の向上

- ・ 誰もが持続可能で利便性の高い官民のサービスを受けられる街
- ・ これまで以上に、快適・安全・安心・幸福を感じられる街
- ・ 企業競争力を高め、地域課題の解決に向けチャレンジできる街

地域のデジタル改革

視点③ スマートシティの実現

- スマートシティ関連事業の推進
 - ・ 健康、医療、介護分野
 - ・ 教育、研究分野
 - ・ 防災・減災分野
 - ・ モビリティ分野
 - ・ インフラ分野
 - ・ 環境、エネルギー分野
- データ利活用の推進
- ベース・レジストリの整備

視点④ 地域産業のデジタル化

- 札幌圏デジタルインフラ構想の推進
- 中小企業のデジタル・トランスフォーメーション支援
- 中小企業の生産性向上支援、テレワークの定着による働き方改革
- デジタル人材の確保・育成
- スタートアップとの協働による行政のオープンイノベーションの推進

【併せて取り組むべきこと】

- アクセシビリティの確保
- デジタルデバイド対策
- サイバーセキュリティの強化
- 個人情報の保護

デジタル人材の育成に向けた主要事業



小中高

大学・専門学校等

若手社会人

社会人

デジタルリテラシー
を育成

プログラミング
体験イベント

プログラミング
実践キャンプ

産学官連携による高大
IT・データサイエンス教育

デジタルを実装できる人材を育成

★高度エンジニア発掘・育成プログラム
「STAND OUT」

エンジニア技術向上セミナー・勉強会・イベント等
〔 Developers Festa Sapporo (クラウド、IoT等)
XR Exhibition in Sapporo (VR、AR等) ほか 〕

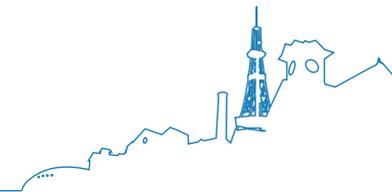
★実践的AI人材育成・実証プログラム
「札幌AI道場」

札幌AI人材育成プログラム
Sapporo AI Lab AI普及啓発セミナー

★DX推進リーダー育成プログラム

デジタルを活用できる人材を育成

DX推進リーダー育成プログラム



- 中小企業の社内でDX推進を担うリーダーを育成するプログラム（北海道IT推進協会、株式会社ディグナ（DX学校）等と連携により実施）

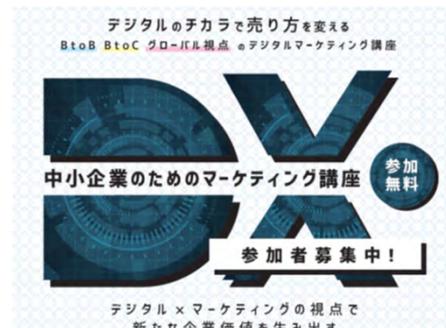
2021年度開催実績

- 中小企業の経営層などを対象にDXの必要性や実践方法などの理解を促す実践セミナーを開催。169名が参加
- プログラムは、グループでの実践型授業（各週90分）+ eラーニング（各週60分）×12週で開催。25名が参加
- ITの基礎知識や自社に適合するITツールの選定、社内のデジタルの普及策などを講義・グループワークで学び、最後には参加者が自社業務のデジタル化の推進計画を発表



2022年度開催実績

- 「中小企業のためのマーケティング」をテーマとしてキックオフセミナーと講座（全4回/各回2時間）を開催。セミナーは36名、講座は計113名が参加
 - 講座では、それぞれの業種等に応じ、デジタルを活用したマーケティング手法を講義、個人&グループワークにより習得
- 第1回 経営層・幹部候補向け
第2回 BtoB業種経営者・実務者向け
第3回 BtoC業種経営者・実務者向け
第4回 グローバル展開したい企業向け



高度エンジニア発掘・育成プログラム「STAND OUT」



- 札幌から世界で通用するエンジニアを生み出すことを目指し、自らの力でサービスの生み出すことができる人材を発掘し、育成するプログラム

プログラム内容

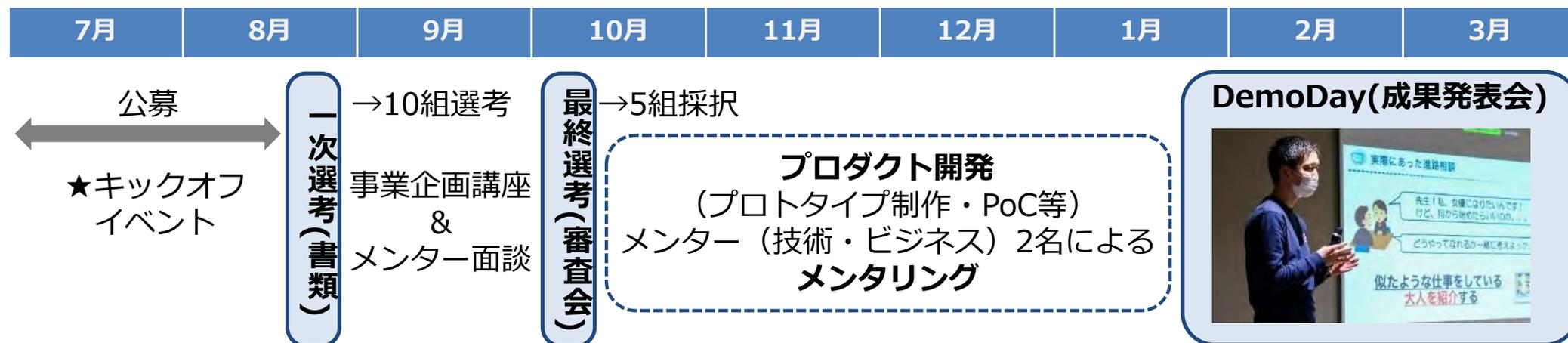
- ITを活用した先進的なプロジェクトを公募し、革新性やイノベーション創出可能性などの観点から最大5組を採択
- 採択者は技術・ビジネスの2名のメンターから伴走指導を受けながら、プロダクトを開発し、その成果をDemoDayで発表
- 採択者には開発支援金100万円を支給

過去採択テーマ（一例）

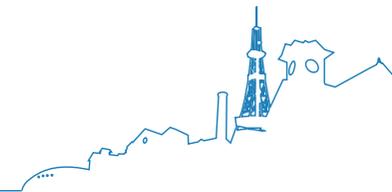
- 聴覚障害者向けARグラス手話通訳・字幕表示アプリケーション
→ 第2期オーディエンス賞受賞
- 高校生向けオンライン進路相談サービス
→ 第1期オーディエンス賞受賞

採択を機に起業し、システムを本格開発サービスの正式リリース、資金調達にも成功

(年間スケジュール)

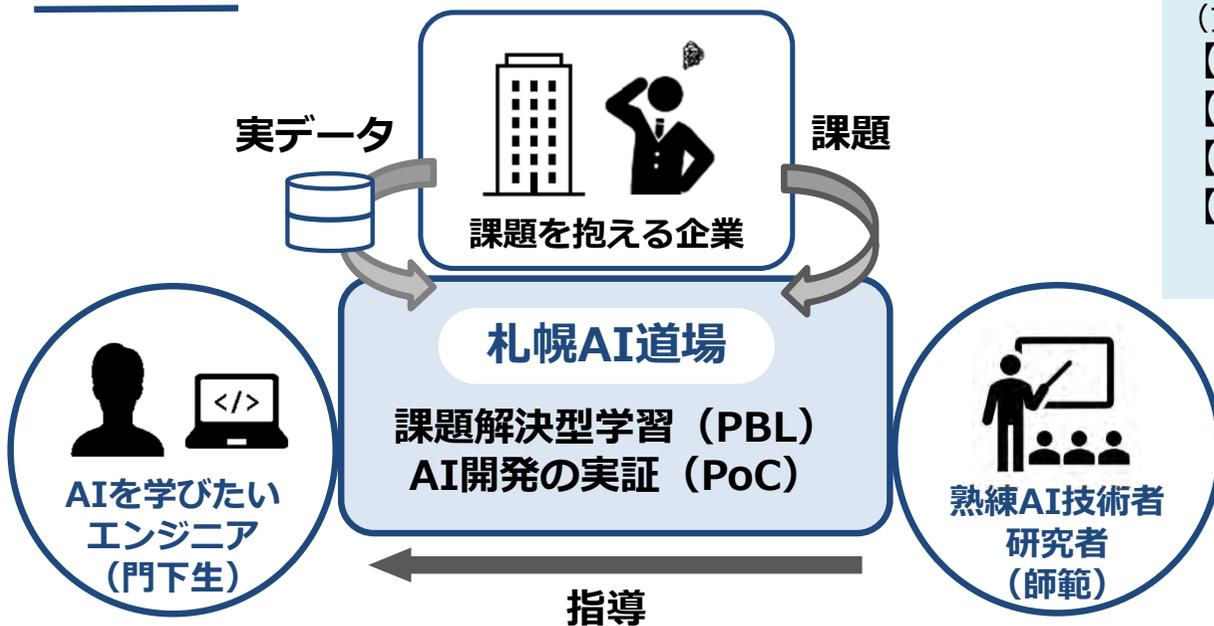


実践的AI人材育成・実証プログラム「札幌AI道場」



- AIにより解決したい企業の実課題を題材として、課題解決型学習による実践的AI人材育成とAI開発実証を同時に行うプロジェクト

全体像



第1期 18名参加/3つのプロジェクトを演習

(プロジェクト一例)

- 【企業】水産加工品製造・販売業（釧路）
- 【課題】丸とろろの成形不良や昆布片の混入が発生
- 【目標】AIによる不良品検知、除去の自動化
- 【成果】6パターンの学習モデルの比較検証を行い、9割以上の精度で不良品判定を行うAIを構築



演習形式

